

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.02)

| 1-1 建物概要 |                                   | 1-2 外観 |                |
|----------|-----------------------------------|--------|----------------|
| 建物名称     | (仮称)兵庫県芦屋市茶屋之町23計画                | 階数     | 地上9F           |
| 建設地      | 兵庫県芦屋市茶屋之町23番24、23番25、23番30       | 構造     | RC造            |
| 用途地域     | 近隣商業地域、第一種中高層住居専用地域、準防火地域、法第22条区域 | 平均居住人員 | 68人            |
| 地域区分     | 6地域                               | 年間使用時間 | 8,760時間/年(想定値) |
| 建物用途     | 集合住宅                              | 評価の段階  | 実施設計段階評価       |
| 竣工年      | 2027年3月 予定                        | 評価の実施日 | 2025年10月31日    |
| 敷地面積     | 732㎡                              | 作成者    | 株式会社IAO竹田設計    |
| 建築面積     | 443㎡                              | 確認日    | 2025年10月31日    |
| 延床面積     | 2,854㎡                            | 確認者    | 株式会社IAO竹田設計    |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.7**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

**標準計算**

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.3

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

### LR 環境負荷低減性

**LRのスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

| 3 設計上の配慮事項   |  | その他  |
|--|--|--|
| <b>総合</b><br>建物利用者の快適な生活環境を維持するため建築物の耐用年数を高め、省エネルギー性等で環境にも配慮している。          |  | 特に無し   |
| <b>Q1 室内環境</b><br>断熱等性能等級 等級5の取得や、F☆☆☆☆の建材を使用するなど、室内の温熱環境やシックハウス対策に配慮している。 | <b>Q2 サービス性能</b><br>劣化対策等級 等級3を取得し躯体材料の耐用年数を高め、更新必要間隔の長い給排水配管を使用することで建物の耐用年数に配慮している。 | <b>Q3 室外環境(敷地内)</b><br>敷地内にてできる限り緑地を設けて良好な温熱環境に心がけている。   |
| <b>LR1 エネルギー</b><br>断熱等性能等級 等級5を取得、LED照明などで省エネに配慮している。                     | <b>LR2 資源・マテリアル</b><br>ノンフロン断熱材の採用やリサイクル材を使用し、資源の有効利用を心がけている。                        | <b>LR3 敷地外環境</b><br>長寿命の躯体や高効率な設備により、ライフサイクルCO <sub>2</sub> の排出を抑制し、地球温暖化に配慮をしている。また、屋外広告物照明の設置は行わないなど、敷地外環境に配慮した。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される